

プロジェクト名・提案者

車載サーモカメラを用いた漏水検知で、漏水の早期発見と検知精度向上の都市型モデル構築
(株式会社 Essen、川崎市上下水道局)

プロジェクト概要



車両の移動に伴い取得する様々なデータの分析技術を有する株式会社Essenと、川崎市上下水道局が連携し、車に搭載した赤外線カメラ(サーモカメラ)から取得した画像や路面温度をAIが解析することで、水道管の漏水が疑われる箇所を抽出するとともに、抽出精度の向上に向けた実証を行う。この取組により、これまでの音響検査による漏水の発見が困難だった少量の漏水の発見や、より広範囲を迅速に調査することで、低コストかつ効果的に漏水を発見する都市型モデルを構築し、全国の自治体への展開と省エネ効果によるCO₂排出量の削減を目指す。

プロジェクト名・提案者

データセンターの排熱を活用した熱発電による環境負荷の低減プロジェクト
(株式会社 elleThermo、デジタルエッジ・ジャパン合同会社)

プロジェクト概要



株式会社 elleThermo が独自に開発した、室温以上の低温排熱により発電する熱発電素子 (STC) を用いて、デジタル・エッジ・ジャパン合同会社が運営するデータセンター (DC) でサーバー等の排熱からの熱発電による温度センサーの駆動可能性と導入メリットの評価を行う。AI の普及に伴い、DC の電力消費の増加が見込まれる中、この取組を通じて、排熱発電で駆動する温度センサーを多数設置することで、バッテリー交換作業など保守運用の負担を軽減しつつ、適切な温度管理を実現し、設備監視の高度化と空調の最適化による CO₂ 排出量の削減を目指す。

プロジェクト名・提案者

食品副産物やプラスチックなどの廃棄物を炭化し、再資源化する循環モデルの構築
(株式会社 Gab、森永乳業株式会社)

プロジェクト概要



株式会社 Gab が有する、リサイクルが難しい有機系廃棄物を炭化し、得られた炭化物を素材として活用する資源循環技術を用いて、森永乳業株式会社の商品製造過程等で発生する食品副産物や廃棄プラスチックを原料として有効活用できる資材の開発に取り組む。この取組により、現在焼却されている食品残渣等を、商品パッケージ用インクや包装資材等に変えていくことで、食品製造業界における新たな資源循環モデルの構築と CO₂排出量の削減を目指す。

プロジェクト名・提案者

乳酸菌発酵技術を活用した「熟成魚」が拓く湘南西ローカルガストロノミー
(株式会社 Co.Lab、株式会社 明治)

プロジェクト概要

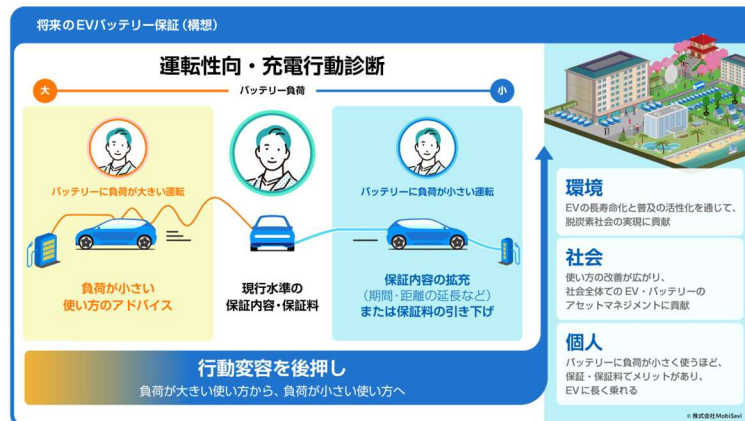


大磯や湘南西地域を中心に空き家などの拠点を再生することで地域課題の解決に取り組んでいる株式会社 Co.Lab が、脱脂粉乳を使用した「乳酸菌発酵液」の技術を持つ株式会社 明治と連携し、相模湾で獲れる低利用魚(マルソウダ)を原料にした「熟成魚」の開発に取り組む。この取組により、開発した「熟成魚」を大磯港の賑わい交流施設「大磯コネクト」などで販売することで、漁獲量は多いが市場流通価格も低くなっている、低利用魚を高単価な商品へと変えて地産地消の推進や未・低利用魚の有効活用と、それらを通じた CO₂ 排出量の削減を目指す。

プロジェクト名・提案者

EV バッテリーの長寿命化に向けた行動変容を促すインセンティブ型保証の開発
(株式会社 MobiSavi、東京海上日動火災保険株式会社)

プロジェクト概要



EVバッテリーの劣化予測の技術を持つ株式会社MobiSaviは、社会のさまざまなリスクに対し保険商品を提供する東京海上日動火災保険株式会社と連携し、運転傾向や充電行動のデータを活用したEVバッテリーのパーソナライズされた保険商品の開発・検討に取り組む。この取組では、バッテリーへの負荷を抑える運転や充電行動に対して、保証内容の拡充や保険料の引下げ等のインセンティブを付与することで、EVドライバーの行動変容を促し、EVバッテリーの長寿命化及びEVの長期利用を通じたCO₂排出量の削減を目指す。

別紙2 大企業等との連携事業(ビジネスアクセラレーターかながわ(BAK))採択プロジェクトの概要
※下線はベンチャー企業

プロジェクト名・提案者

相模原市橋本発!未来の宇宙産業を担う宇宙人材教育プログラムの開発
(株式会社 amulapo、京王電鉄株式会社)

プロジェクト概要



宇宙教育コンテンツの開発・提供を手掛ける株式会社 amulapo と、相模原市の橋本駅周辺を中心としたまちづくりに取り組む京王電鉄株式会社が連携し、子どもたちが宇宙について継続的に学べる教育プログラムの開発・実証を行う。学校や学習塾などの教育機関等への提供を想定し、教育現場のニーズを踏まえながら、プログラムの内容や提供方法、事業化に向けた検証を進める。この取り組みにより、宇宙や科学への興味・関心を育む学びの機会づくりを通じて、将来の宇宙産業を支える人材の裾野拡大と、宇宙をテーマとした橋本エリアのブランド力向上を目指す。

プロジェクト名・提案者

転倒リスクの評価による建設業における転倒予防の安全労働モデルの構築
(UNTRACKED 株式会社、戸田建設株式会社)

プロジェクト概要

1分で計測

見やすいレポート

最適な体操

建設現場で導入・普及

StA²BLE

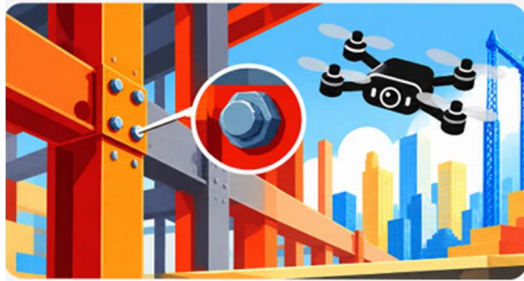
転倒リスクの評価技術と、リスク要因に応じた最適な体操の自動提案を組み合わせ、主に製造業での導入が進んできた転倒予防ソリューション「StA²BLE」を提供する UNTRACKED 株式会社と戸田建設株式会社が連携し、建設現場における作業員等の転倒を防止する実証を行う。この取組により、製造業と異なり、様々な会社に関わり、日々多くの作業員が入れ替わる中で、転倒・転落等による労災が多く発生する建設現場に適した転倒予防モデルの構築に取り組むとともに、戸田建設のネットワークを活用し、構築したモデルの建設業全体への展開を目指す。

プロジェクト名・提案者

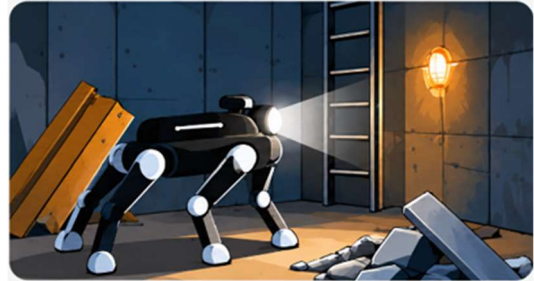
ドローンや AI を活用した、現場の安全と都市の安全の両立への挑戦

(Xsym 株式会社、株式会社フジタ)

プロジェクト概要



ボルトの締め付け確認



地下ピット材確認

暗黙知を高速で学習する画像 AI 技術を持つ Xsym 株式会社と、大型の建設工事等行う株式会社フジタが連携し、高所での鉄骨ボルトの締付確認や地下ピット等の暗所における残材確認といった危険を伴う場所での確認作業を画像 AI が代替する実証を行う。この取組により、現在、危険な場所で人が行っている確認作業を、ドローンやロボットが撮影した画像の分析に代替していく建設業界の AX (AI Transformation) を進めることで、安全性や生産性の向上につなげ、将来的には様々なインフラにおいて展開することを目指す。

プロジェクト名・提案者

口腔ケアから始める未病改善に向けた行動変容への挑戦

(株式会社 Genics、株式会社インテージヘルスケア)

プロジェクト概要



全自動の歯みがきロボットを開発・販売する株式会社 Genics と、医療・ヘルスケア領域での市場調査やデータ分析を行っている株式会社インテージヘルスケアが連携し、「歯みがき」を切口とした健康行動・未病改善を促進する実証を行う。この取組により、「歯みがき」という日常行動を起点にして個人の健康意識を高めたうえで、健康行動につながる介入を行う新たなモデルを構築し、将来的には企業に対して「歯みがきロボット」を活用した健康管理サービス提供することで、企業の健康経営・福利厚生として導入を進め、未病改善に向けた個人の行動変容を目指す。

プロジェクト名・提案者

横浜発、訪日ファミリーを安心して受け入れる全国標準基盤の構築

(Synk 株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社、横浜市米州事務所)

プロジェクト概要



訪日客が安心して
観光を楽しむこと
を後押し

訪日富裕層の家族をターゲットに保育と文化観光体験サービスを提供するSynk株式会社は、旅行中の訪日客から保育士が安心して子どもを預かることができる環境を整えるために、三井住友海上火災保険株式会社、MS&ADインターリスク総研株式会社と連携し、現場でのヒヤリハット事例などに基づく保育時のサービス管理規定を策定し、安全性の向上を図る。また、横浜市米州事務所と協力しながらGREEN×EXPO2027を契機に来日する家族向けのサービスを提供するなど、訪日客が安心して観光を楽しめる環境整備と観光消費額の向上を目指す。

プロジェクト名・提案者

駅を舞台にした、若手アーティストと企業のマッチングによるアート経済圏創出プロジェクト
(株式会社 TODOROKI、京王電鉄株式会社)

プロジェクト概要



若手アーティストの支援を行い、アートビジネスの知見を持つ株式会社 TODOROKI と、相模原市橋本駅を中心とするエリアの開発に取り組む京王電鉄株式会社が連携し、店舗等において地元アーティストの作品を活用したい企業と若手アーティストや地元の美大生等を結び付け、発注できるアートのマッチングシステムの実証を行う。この取組により、若手アーティストや美大生が作品を発表する場が少なく、企業とのマッチング機会も得られないという課題の解決につなげるとともに、アートの魅力を活用したまちのブランディングを行い、橋本を人々が降りたくなるエリアとすることを目指す。

プロジェクト名・提案者

3D×AI×IoT で実現する、建物の維持管理を支援する新たなモデル構築
(株式会社ビートバップ、株式会社フジタ)

プロジェクト概要



デジタルツインを用いて現実世界を3D空間に再現する技術を持つ株式会社ビートバップと、建物の建設から、改修・修繕・維持運用管理段階での支援を手掛けるゼネコンである株式会社フジタが連携し、3D・AI・IoT等の技術を掛け合わせることで、建物の維持管理の効率化につなげる実証を行う。この取組により、センサーによる異常の早期検知や、3D空間で建物・設備の状態を直感的に把握する仕組みや、AIエージェントによる判断のサポート等を実現することで、建物の維持管理を担当する職員が異常の発見、点検、判断、対応といった一連の行動を適切に行える仕組みを構築し、維持管理を担う人材の不足や高齢化が進む中、熟練者のノウハウへの依存が大きいという課題の解決に繋げ、建物の維持管理の新たな持続可能なモデル構築と普及を目指す。

プロジェクト名・提案者

厚木産ペピーノを地域特産品に!水耕栽培化と育苗短縮・収穫体験モデル
 (株式会社 FDS、厚木市農業政策課、東京農業大学厚木キャンパス、株式会社横浜銀行)

プロジェクト概要

植物工場や水耕・人工土壌の技術を有する株式会社FDSと、厚木市及び関連団体が連携し、南米原産でメロンのような味と香りがするナス科の野菜であるペピーノの年間を通じた安定的な栽培と、体験型植物工場での収穫体験の実証を行う。産官学金が連携した本取組により、水耕栽培技術と挿し木を組み合わせた高品質な苗の安定供給及び、体験型観光の収益化を実現することで、農家や地域の事業者、教育機関とも連携してペピーノを厚木の地域の特産品として売り出し、地域振興・地域経済の活性化を目指す。

プロジェクト名・提案者

空きスペースでの出店経験・実績を、創業や地域定着につなげる「追浜さかさmart」
 (株式会社 On-Co、横須賀市創業・新産業支援課)

プロジェクト概要

大家が、空き家を借りて欲しい人を選ぶ「さかさ不動産」を運営する株式会社On-Coと、横須賀市創業・新産業支援課が連携し、追浜商店街エリアでの空きスペースを活用して出店したい人を呼び込む「さかさmart」の実証を行う。本取組により、出店希望者が空きスペースを必要なときだけ利用し、個々のペースで出店経験を重ねられる環境をつくりながら出店の実績を重ねることで、将来的な空き店舗での創業や地域への定着につなげる。この取組を他のエリアにも広げていくことで地域経済の活性化を目指す。

プロジェクト名・提案者

「現在」と「未来」のデジタルマップによるまちづくりプラットフォームの構築
(株式会社 Stroly、平塚市都市整備課)

プロジェクト概要



イラストマップとデジタルデータを掛け合わせたデジタルマップ・プラットフォームを開発している株式会社 Stroly と、平塚市都市整備課が連携し、20 年後の平塚駅周辺のまちづくりに向けた市民の合意形成と空き店舗活用に取り組む実証を行う。この取組では、「現在」と「未来」のマップを見比べることができるデジタルマップを活用し、市民や事業者などとまちの将来像を共有する。また、空き店舗の情報や人流データを提供することで、事業者の出店判断を後押しし、駅周辺のにぎわい創出と地域経済の活性化を目指す。

別紙4 自治体との連携事業(エール“ガバメント×ベンチャー”アライアスかながわ(YAK))
採択プロジェクトの概要 ※下線はベンチャー企業

プロジェクト名・提案者

母語での算数学習×AI 個別最適化で実現する次世代日本語学習支援
(株式会社 e-Education、神奈川県国際課)

プロジェクト概要

「Manaful (マナフル)」プログラム

解決のアプローチ ①



AI連動型オンライン学習伴走システム「Manaful」

解決のアプローチ ②



AI診断による日本語教育の個別最適化

解決のアプローチ ③



AI教材/問題作成による母語による算数個別伴走支援

解決のアプローチ ④



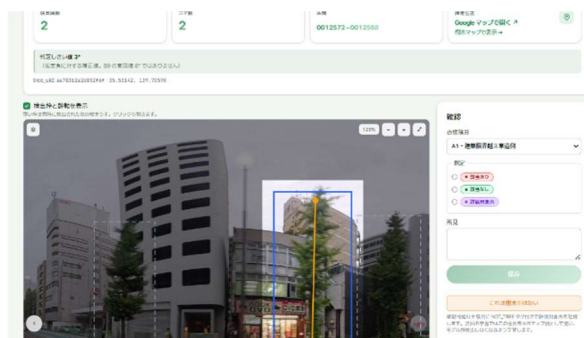
地域人材の活用による持続可能な体制作り

ICT・AI を活用した教育開発を行う株式会社 e-Education と、県国際課が連携し、県西地域で特に課題となっている日本語学習の機会不足等による地域格差の解決に向けた実証を行う。この取組により、オンライン学習というアプローチで、地域人材が母語での算数学習を伴走することで外国ルーツを持つ子どもの学力全般を底上げするとともに、AI による双方向かつ個別最適化された日本語の学習支援を提供することで、生活に必要な日本語能力の獲得につなげ、県内どこにいても同じクオリティで受けられる次世代の日本語教育の実現を目指す。

プロジェクト名・提案者

AI 街路樹診断で知見を引き継ぎ、倒木事故ゼロへ
(株式会社 DX ビジョン、平塚市道路管理課)

プロジェクト概要



AI による画像データ分析に強みを持つ株式会社 DX ビジョンと平塚市道路管理課が連携し、危険な倒木や落枝事故の予防に向けて、街路樹診断の新たな手法として、AI を活用した診断モデルを構築し、診断の効率化と精度向上のための実証を行う。この取組により、現在、人が全て行っている診断や記録といった作業について AI を活用して一次診断や記録を行うことで、点検精度の向上や判断の属人化の解消、点検作業の効率化につなげるとともに、将来的には、限られた人員と予算で実現できる平塚市の診断モデルを他の自治体に広げ、全国のスタンダードになることを目指す。

プロジェクト名・提案者

人と人の関係構築の入口をロボットが作る AI ロボット「ハナモフロル(愛称:ハナちゃん)」の学校導入モデル

(ハナモフロル株式会社、相模原市教育委員会)

プロジェクト概要



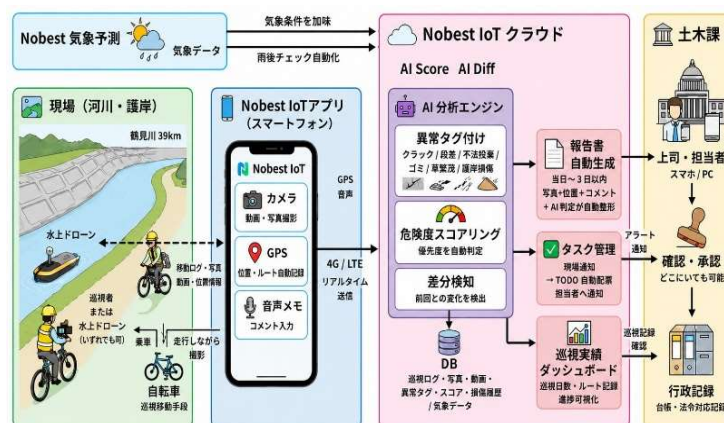
子ども型 AI ロボット「ハナモフロル(愛称:ハナちゃん)」を開発するハナモフロル株式会社が、相模原市教育委員会と連携し、子どもたちのコミュニケーションや人間関係づくりを支援する実証を行う。人との対話に不安や難しさを感じる児童に対し、親しみやすい子ども型 AI ロボットとの交流を通じて、安心して自分の気持ちを表現し、人との関わりにつながるきっかけをつくり、学校や教育相談の現場で、児童一人ひとりの特性や状況に応じた心のケアと人間関係構築の新たな支援方法としての有効性を検証する。また、相模原市橋本に所在するイノベーション創出促進拠点である「FUN+TECH LABO」と連携し、社会実装に向けた取組を進める。この取組により、不登校や孤立の予防・支援にもつながる活用モデルを構築し、将来的には全国へと広げていくことを目指す。

プロジェクト名・提案者

映像解析 AI とドローンによる公共インフラ維持管理の革新

(株式会社 Nobest、神奈川県いのち・未来戦略本部室)

プロジェクト概要



AI と IoT を組み合わせ、遠隔から発電施設の異常検知を行う技術を有する株式会社 Nobest と県のいのち・未来戦略本部室が連携し、人手不足と高齢化が進み属人的な負荷が高まっているインフラ管理の巡視作業をドローン等と AI を活用して効率化する実証を行う。この取組により、これまで巡視者が現地で行ってきた移動・撮影・画像整理・判断といった一連の業務を、ドローンが撮影した映像をもとに解析から異常検知まで自動で行う仕組みに代替し、将来的には土木施設、道路、森林など様々な分野に展開することで、問題が起きる前に検知する安全管理の神奈川モデルの実現を目指す。

プロジェクト名・提案者

「ともに生きる」を阻む無自覚な偏見をデータで可視化
(株式会社 Liquitous、神奈川県共生推進本部室)

プロジェクト概要

ともに生きる 翔子 図



SNS から声を拾い上げる

バイアスマップの作成

津久井やまゆり園事件を受けて「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定し、障がい者への偏見や差別的思考を排除するための啓発をより効果的なものにするため、自治体向けの市民参加のオンラインプラットフォームを提供する株式会社Liquitousと、県共生社会推進本部室が連携し、SNSから声を拾い上げ、無自覚な偏見をデータとして可視化し、効果的な啓発施策に反映する取組を行う。この取組により、従来の手法では拾いきれなかった投稿や回答の本音を分析し、偏見の型に応じたバイアスマップを作成し、それぞれの型に対する効果的な啓発手法を検討していくとともに、将来的には、根拠に基づく効果的な普及啓発施策を実現するモデルを、多文化共生やハラスメント等の他分野での取組や他自治体の取組に展開することを目指す。